

陳 情 文 書 表

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>陳情第32号（2. 2. 10） 国家公務員共済組合連合会六甲病院の存続・充実等を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 厚生労働省による一方的な六甲病院の統合再編検討の指定について、神戸市として抗議を行うこと。 2. 六甲病院の地域医療における役割をさらに充実させるため、神戸市として支援を行うこと。 3. 兵庫県の神戸医療圏地域医療構想調整会議において確定した2025プラン通り、六甲病院は統合再編を行うべきではないことを神戸市として意見表明すること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市灘区 KKR六甲病院の存続・充実を求める住民の会 代表 中 農 かおり</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>福祉環境委員会</p>

2020年2月10日

神戸市会 安達和彦 議長 様

陳情者

KKR 六甲病院の存続・充実を求める住民の会

代表 中農 かおり

住所 神戸市灘区



KKR 六甲病院の存続・充実に関する陳情

陳情趣旨

政府は2019年9月26日に、国家公務員共済組合連合会（以下「KKR」という）六甲病院を含む424の公立病院・公的医療機関を指定して、統合再編の再検討を要請しました。

これは病院にも兵庫県、神戸市にも相談なく、一方的なものであり、全国知事会飯泉嘉門会長、全国市長会立谷秀清会長、全国町村会荒木泰臣会長は連名で、「地域の個別事情を踏まえず、全国一律の基準による分析のみで病院名を公表したことは、国民の命と健康を守る最後の砦である自治体病院が機械的に再編統合されることにつながりかねず、極めて遺憾であると言わざるをえない」（2019年9月27日「地域医療確保に関する国と地方の協議の場の設置について」）と表明しています。

公的医療機関についても、全国市長会立谷秀清会長などが「改善と機能分化を進めていかなければならないが、地域により公立・公的医療機関等の果たす役割は異なることから、全国一律の基準により分析したデータだけで再編統合を推進することは適切ではなく、地域の住民の不信を招いている」（2019年10月4日「地域医療構想についての意見」）と表明しています。

KKR 六甲病院は、年間306件の救急車受け入れ、休日・夜間の受診2,296人、年間延入院患者51,446人の実績を持つ、地域にはなくてはならない病院です。休日夜間の診療受入は灘区の8病院のうち27%となっています。（2017年病床機能報告から）

また、KKR 六甲病院は、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸大学医学部附属病院、神戸労災病院、神戸赤十字病院などと連携し、回復期にある患者さんをはじめ、緩和病棟（ホスピス）、在宅医療支援など地域に必要な医療を提供しています。レスパイト入院にも対応していて、介護者の休息のほか、病気、冠婚葬祭、旅行などで一時的に在宅介護が困難になる場合にもご家族を支援しています。

このように、地域医療において六甲病院が果たしている役割は明白であり、次の通り陳情します。

陳情項目

- 1、厚生労働省による一方的な六甲病院の統合再編検討の指定について、神戸市として抗議を行うこと。
- 2、六甲病院の地域医療における役割をさらに充実させるため、神戸市として支援を行うこと。
- 3、兵庫県の神戸医療圏地域医療構想調整会議において確定した2025プラン通り、六甲病院は統合再編を行うべきではないことを神戸市として意見表明すること。